

平成29年度
優秀賞

鹿児島くみあい食品株式会社

会社概要

鹿児島くみあい食品株式会社は、昭和49年2月に操業開始し、県内において7つの工場・事業所を展開し、農産物の製造販売と加工事業を行い、従業員数は約230人である。

削減実績

二酸化炭素排出量削減率 15.0%達成（平成25年度比）

※電力排出係数の変動の影響を考慮し、電力排出係数を基準年度（平成25年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成26年度～平成28年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全従業員による削減活動の実施

省エネの取組については、外部委託業者、各工場長及び省エネ担当で構成する省エネルギー推進委員会を年2回開催し、その中で、エネルギーの使用量の分析、省エネ取組事例、外部委託事業者より省エネに繋がる設備の提案や商品の紹介などをもとに、省エネに向けた検討等を行っている。

また、各工場の省エネ担当者によるエネルギー使用量削減計画による取組実施や、年1回、外部委託業者による省エネパトロールを行い、省エネ対策に取り組んでいる。

なお、平成16年、品質に関する国際規格ISO9001を取得、その後、食品安全に関する国際規格ISO22000を平成24年に蒲生工場、平成29年に加世田工場で取得している。

照明の省エネ

蒲生工場、えい工場、加世田工場及び青果センターは自家消費用、メガソーラーファーム大崎は売電事業用として、太陽光発電による自然エネルギーを利用した二酸化炭素排出量削減に取り組んでいる。

また、工場内の水銀灯は全て省エネタイプ電球器具LVD（「Low Voltage Discharge」無電極ランプ）に更新し、省エネ対策を実施している。また、駐車場の照明を水銀灯からLVDに交換し、省電力化するとともに、人感センサーや消灯タイマー設備を導入し、無駄な点灯をしないようにしている。

設備の省エネ等

蒸気バルブや蒸気配管の断熱保温を実施することでエネルギーロスの低減を図っている。污水处理ブロワの稼働については、工場の稼働状況により、運転台数の管理を行い、稼働台数を減らすなどして、消費電力量を抑える運用や、受変電設備の更新による高効率のトップラナー変圧器の導入や、冷蔵・冷凍設備の一部を高効率の設備に更新し、省エネに繋げている。

社用車の50%をハイブリッド車（HV）に更新し、今後の更新時においても、随時HV車へ更新を予定している。

今後は、高効率設備の更新を計画的に進め、引き続き省エネルギー推進委員会を軸に省エネ対策に取り組んでいく予定である。



太陽光発電



LVD（無電極ランプ）化



高効率設備機器